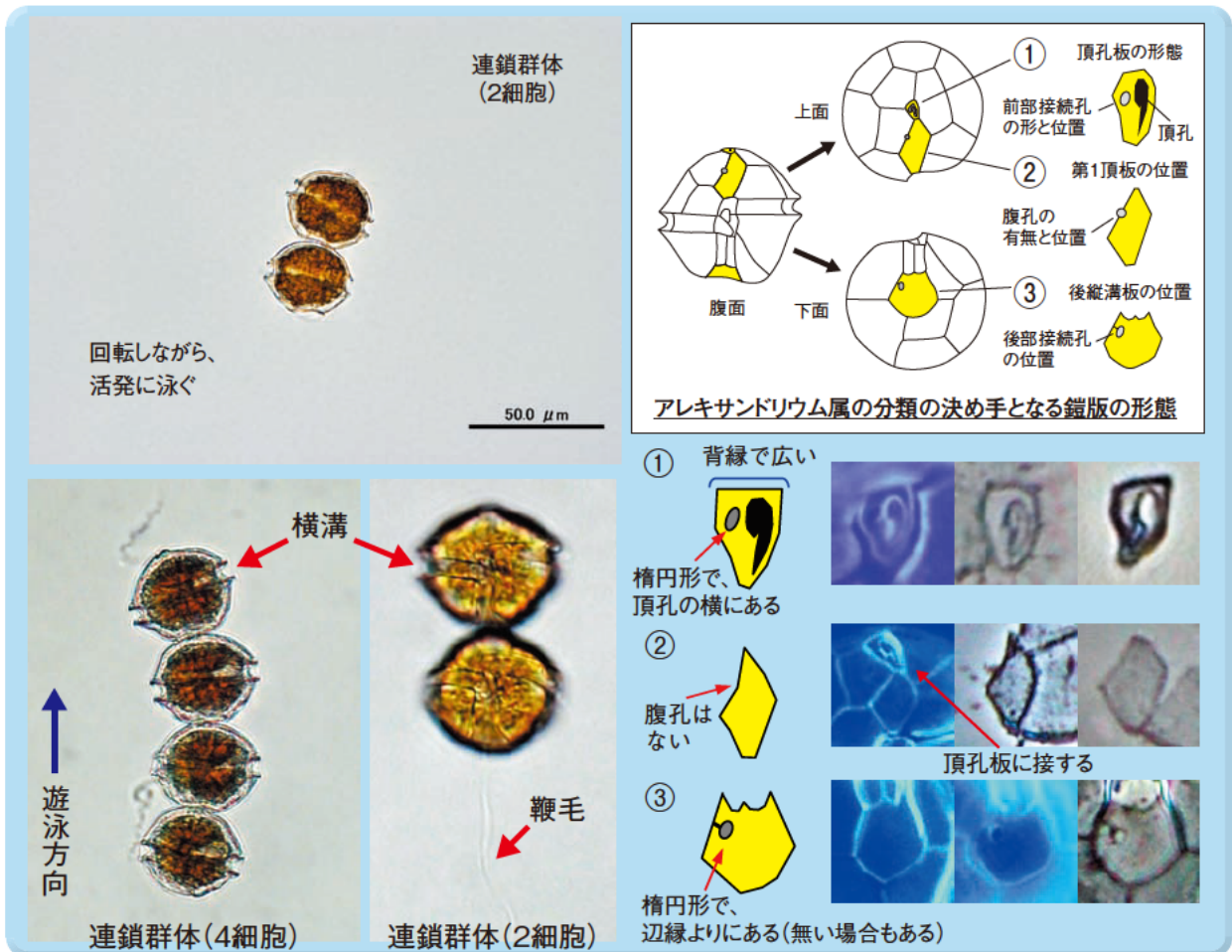


# アレキサンドリウム カテネラ(渦鞭毛藻)

(*Alexandrium catenella*)

動画



**大きさ** 長さ21~48 $\mu\text{m}$ 、幅21~50 $\mu\text{m}$

**形態** 色は茶褐色。球形で、細胞の幅は高さよりもやや長い、ほぼ等しい。単体(1細胞)あるいは2ないし4細胞の連鎖群体が普通であり、それよりも長い群体は稀である。類似種のアレキサンドリウム タマレンセ(*Alexandrium tamarense*)とは、頂孔板(ちょうこうばん)の形態(図①)と第1頂板(だいいちちょうばん)の腹孔(ふっこう)の有無(図②)によって区別できる。

**動き** 回転しながら活発に泳ぐ。単体の細胞は、転がるような動きをすることもある。

**その他** 夜間は刺激によって青白い光を発する。

**漁業への影響**：麻痺性貝毒を産生し、二枚貝のほか、二枚貝を捕食するカニ類(トゲクリガニ、イシガニなど)を毒化させる。マウス試験で基準値(4MU/g)を超えると二枚貝の出荷自主規制措置が講じられる。

**漁業被害**：二枚貝の出荷規制事例は、平成6年の英虞湾(ヒオウギ)、五ヶ所湾(ヒオウギ、アサリ)、平成8年の英虞湾(ヒオウギ)、五ヶ所湾(ヒオウギ)、平成10年の英虞湾(ヒオウギ)、五ヶ所湾(ヒオウギ、アサリ)、平成14年の的矢湾(ムラサキイガイ)、平成20年の阿曾浦(ヒオウギ)、平成21年の尾鷲湾奥の白石湖(マガキ)、平成24年の的矢湾(ヒオウギ)などがある。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸(主的に的矢湾以南) **発生時期**：4~6月頃(ただし、尾鷲湾では2月にも発生)